



## 碧高祭

体育部門競技 9月4日(水)  
文化部門 9月5日(木)  
体育部門応援 9月6日(金)

心に灯せ碧高魂!!～最高瞬間を～  
9月4日～6日、碧高祭が行われました。競技部門では、自団の勝利のため汗を流し、全力で仲間を応援し、相手の健闘を称えました。文化部門では、各クラスの出し物と文化部発表、有志のステージ発表を楽しむ、午後からは各団の2年生が、クオリティの高い劇・ダンス・動画発表などを行いました。悪天候で延期となった応援部門では、4つの分団がテア・応援に分かれ、演舞を行いました。輝く笑顔や振りがびつたりと揃い、最高の盛り上がりとなりました。3年生が各団のイメージに合わせて制作した全長5m近くの大きなパネルは、碧高祭の3日間を彩りました。

### 校長コラム 第2回 「青の思い出」 校長 小田智昭

8月終盤、台風10号は列島に大雨ももたらし、進行速度の遅さで多くの被害を与えました。被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。そのような中、本校生徒は先生方のサポートを受けながら、2学期開始早々に行われる本校最大の行事「碧高祭」の準備を懸命に進めてくれました。文化部門は、文化系部活動の成果発表、1・2年生各クラスはアトラクションなどの企画発表、総合ビジネス科の商品開発発表など、内容の濃いものでした。

体育部門は、全学年混成で、「赤誠」「青陵」「玄黄」「白虎」の4分団に分かれ、体育競技と応援合戦での演舞発表で対抗戦を行います。

以前私が教員として本校に勤務した平成初期の時代には、同じく4分団対抗で「マスコット製作」部門というものがありませんでした。各分団のシンボルとなる大きな立体造形物(いわゆる張りぼて)を、木材や竹で作り上げるものであり、かなりの労力を必要とするものです。私事ではありますが、平成9年「青陵」分団のマスコット製作顧問として、生徒と協力して作り上げた「なまはげ」を忘れることができません。秋田県の神事で用いられる「なまはげ」の仮面を題材に製作したものです。設計図を書き、雨風に耐えながら、少しずつ気持ちを込めて作業をすすめました。生徒の提案で、仮面の目玉が動くように工夫したことなどを、昨日のこのように思い出します。

この作品が最優秀賞になり、生徒と共に喜び合いましたが、むしろその後のことが印象に残ります。「さあ、片付けるぞ」と、電動ノコギリで教員が「なまはげ」を容赦なくどんどん切り刻んでいくなか、一瞬呆然と立ちすくんだのち、笑顔と涙が入り交じりながら、そのかけらを抱きしめるように片付けていく生徒たちの姿でした。

今年も楽しんだ時間にケリをつけ、日常に気持ちを戻さなければなりません。3年生は、まさに進路選択の季節に入ります。その学年は一層学力、体力を充実させるための時期になります。総合ビジネス科は、検定試験への挑戦が本格化します。

「祭り」で示した旺盛な若いエネルギーを発揮し、文字通り爽やかな秋にしてほしいと思います。大丈夫、碧高生ならできます。

「なまはげ」イメージ画→



### 碧高生活活動紹介 碧高祭を終えて～生徒会長のことば～



こんにちは!今年度前期生徒会長の柴田凛太郎です。ここでは、本校で行われている碧南高等学校校祭「碧高祭」についてお話します。碧高祭は、碧南高校のメイン行事であるとともに、今年度で第48回を迎える伝統ある行事です。

まずは碧高祭について説明します。碧高祭は、応援部門・競技部門・文化部門の3つの部門があり、3日間かけて行われるとても大きな行事です。碧高生はこの3日間のために夏休み後半から準備を始め、とても暑い中ですがどの部門も全力で活動します。

いよいよ当日、応援部門では練習の成果を存分に発揮し、競技部門では各生徒が自分の力を出し切り、文化部門ではクラスでの出し物や、ステージ発表などをみんなが楽しめるように運営します。碧高生全員で協力し創り上げていく最高の行事です。

今年度、生徒会は「心に灯せ碧高魂～!!最高瞬間を～」を碧高祭スローガンとし、今までの先輩たちが残してくれた良い伝統は生かしつつ、時代に合わせて皆が楽しめるような碧高祭を創るということを目標に活動してまいりました。目標を達成し、後の世代も繋がっていくような、とてもいい碧高祭を創ることができたと思っています。また、今年度の碧高祭で主に動いてくださった生徒会部の先生方、活動に協力していただいた先生方、そして分団長ら四役を始めとする各分団をまとめてくれた生徒の皆さんのおかげで今回の碧高祭を成功させることができました。生徒会長として感謝してもきれません。

最後に、これを読んでくれた中学生の皆さん、碧南高校はもう直ぐ100周年を迎える伝統校です。と言ってもあまりピンと来ないかもしれませんが、碧南高校は進学・就職にも力を入れていて幅広い選択肢を取れるし、何より今回話した碧高祭など行事にも積極的な学校です。もしも、今回の話に興味を持ってくれたのならぜひ碧南高校に来て、僕らが繋いできた碧高祭を体験してみてください。最後までお読みいただきありがとうございます。

